



1.2 m × 8 mの床一面に広がる3D火星画像の上を歩くと、火星を飛んでいるような気分が味わえます。

Image Credit: NASA/JPL-Caltech/MSSS

東京大学総合研究博物館 スクール・モバイルミュージアム

# 火星探査

展示期間：平成28年12月17日（土）～平成29年3月31日（金）  
会場：文京区教育センター2F 大学連携事業室

火星研究者によるギャラリートークも実施します（申し込み不要）



# 火星探査

いまこの瞬間も8機の探査機が火星を調査しているのをご存知ですか？6機は火星周回軌道から火星全体の探査を行い、残りの2機は火星の表面を動きながら岩石を拾いあげて、高度な計測機器を駆使して微量な元素を分析するなど、地球上の科学者が地球を調べるように、火星においても詳しい調査をしています。日本も負けていません。JAXAが昨年発表した火星衛星探査計画(MMX)は、世界の注目を集める「火星圏からのサンプルリターン計画」です。この展覧会では、火星探査でまさに今わかりつつあることを、膨大な量の本物の火星探査データと共にご紹介しつつ、日本が目指す火星衛星探査計画について、その背景や目的などを解説します。人類はなぜこれほど熱心に火星を調べているのでしょうか？火星の何がそれほど科学者を引き付けるのでしょうか？

NASAの火星探査ローバー「キュリオシティ」はいまこの瞬間も火星でゲールクレーターへの調査をしている



Image Credit: NASA/JPL-Caltech/MSSS

## 【主な展示内容】

火星探査機が撮影した最新の高解像度の火星探査画像および日本の火星衛星探査計画の解説

## 【火星研究者によるギャラリートーク】

- |                         |               |                      |
|-------------------------|---------------|----------------------|
| 第1回：12/26 (月)<br>13:00～ | 火星探査・火星衛星探査計画 | 宮本英昭 (東京大学・教授)       |
| 第2回：1/21 (土)<br>13:00～  | 火星探査          | 逸見良道 (東京大学・学術支援専門職員) |
| 第3回：2/18 (土)<br>13:00～  | 火星隕石          | 新原隆史 (東京大学・特任助教)     |
| 第4回：3/29 (水)<br>13:00～  | 火星探査・火星衛星探査計画 | 宮本英昭 (東京大学・教授)       |

開催期間：平成28年12月17日(土)～平成29年3月31日(金)

開催場所：文京区教育センター2階大学連携事業室  
(東京都文京区湯島4-7-10)

連絡先：03-5800-2591

開館時間：9:00-17:00

休館日：日曜・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)

入館料：無料

アクセス：地下鉄千代田線「湯島」駅より徒歩8分  
地下鉄丸ノ内線・大江戸線「本郷三丁目」駅より徒歩10分

主催：東京大学総合研究博物館

共催：文京区教育センター

